



スパークス・新・国際優良日本株ファンド

愛称:厳選投資

マンスリーレポート

平成22年6月30日

【運用実績】

過去のパフォーマンス (%)	直近の分配実績 (円)	
	ファンド	
過去1週間	-3.29	
過去1ヵ月間	-1.67	
過去3ヵ月間	-10.01	
過去6ヵ月間	-1.49	
過去1年間	1.75	
過去3年間	-	
設定来	-5.28	設定来累計 0

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

【信託財産構成比(%)】

株式	97.8
現金・その他	2.2

※比率は対純資産

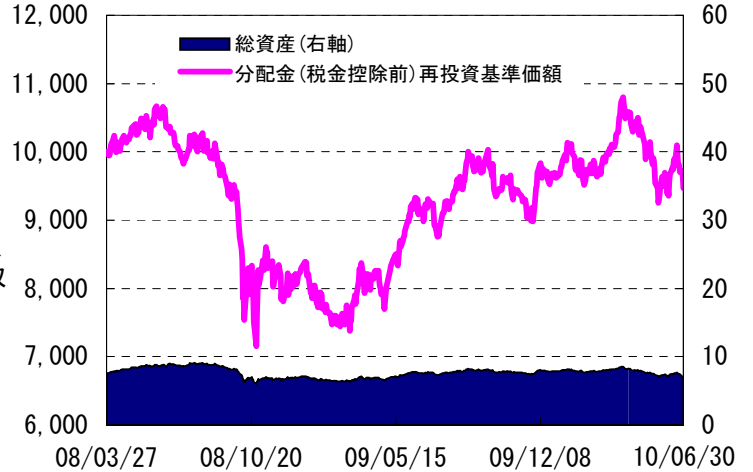
【市場別構成比(%)】

東証1部	84.3
東証2部	0.0
その他市場	13.5
株式組入比率	97.8

【基準価額および純資産総額の推移】

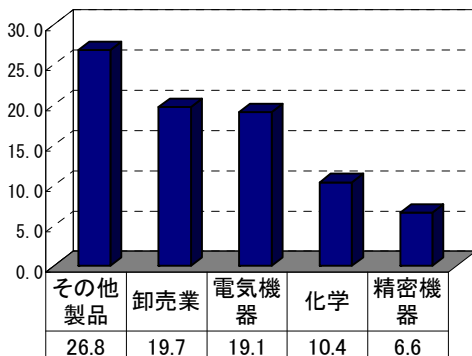
基準価額	解約価額	純資産総額
9,472円	9,444円	6.94億円

(08年3月27日を10,000として指数化) (億円)



※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。基準価額は、信託報酬等控除後です。

【業種別構成比 上位5業種(%)】



※比率は対純資産

【組入株式上位5銘柄】

(銘柄総数 17銘柄)

銘柄	市場	業種
キーエンス	東1	電気機器
フジシールインターナショナル	東1	その他製品
アシックス	東1	その他製品
三菱商事	東1	卸売業
花王	東1	化学

※厳選投資を行っているため、上位5銘柄のみ銘柄名を開示しております。※略称は下記の取引市場を指します。

東1:東証1部、東2:東証2部、東M:東証マザーズ、大1:大証1部、大2:大証2部、JQ:JASDAQ、HC:ヘラクレス

【運用担当者のコメント】

6月の当ファンドのパフォーマンスは、前月末比で1.67%の下落となりました。個別銘柄では、生理用品やベビー用品を手がけるユニ・チャームや消費財関連メーカーの花王などが主にプラスに貢献しました。一方、主にマイナスに影響したのは、総合商社の三菱商事や医療用の器具をてがけるマニーなどです。当月は三菱商事がパフォーマンスに対して主にマイナスに影響いたしました。欧州の財政問題や中国の景気減速懸念が世界経済の回復ペースを鈍化させるという見方が台頭し、三菱商事は景気敏感株であるとして売られる展開になりました。総合商社の業績にとって世界景気の悪化は悪材料となりますが、私も三菱商事をはじめとする総合商社が2008年の金融危機を受けて、これまでにないスピード感で緊縮的な経営に舵を切って難局を乗り切った点の評価しています。とりわけ、1990年代後半のアジア通貨危機の時には総合商社が各社とも巨額の損失を計上し、一部の総合商社は経営難に陥ったことから比較すると、大きな進歩であると考えております。また総合商社各社のマネジメントが、リーマンショック以前の世界的な住宅バブルのさなか、ハイリスクな証券化商品など金融資産への投資に傾倒することなく、あくまで実物経済をベースとした投資事業に注力してきたことも奏功しました。2010年3月期は業界全体として2期連続の最終減益を余儀なくされたものの、投資活動を大幅に抑制したことで、各社とも多額のフリーキャッシュフローを計上しました。結果として、業界最大手である三菱商事もバランスシートの改善が進み、景気回復局面における投資余力が大幅に改善しています。また連結株資本比率も2010年3月期に27.2%へと上昇し、財務リスクに対する抵抗力がさらに充実してきました。このため同社を筆頭とする総合商社各社の経営状態はかつてないほど良好であると現在のところ考えております。今後も海外で飛躍が期待できる企業を発掘し、中長期的な視点で投資してまいります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・新・国際優良日本株ファンド

愛称:厳選投資

マンスリーレポート

ファンドの特色

1. 高い技術力やブランド力があり、今後グローバルでの活躍が期待できる日本企業を中心に投資します。
2. ベンチマークは設けず、20銘柄程度に厳選投資を行います。
3. 原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とします。

* 市場環境等により、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスクについて

当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。従って、金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。

主なリスクとしては、下記のもの挙げられます。
詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

(1) 価格変動リスク

当ファンドは、日本の株式を主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

(2) 集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄数を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

(3) 中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。これらの株式は一般的に株式時価総額が小さく、流動性が低いため、流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

(4) 派生商品取引のリスク

当ファンドは先物取引などの派生商品に投資することがあります。これらの運用手法は、価格変動リスクを回避する目的等で用いられることがありますが、実際の価格変動が委託会社の見通しと異なった場合に当ファンドが損失を被るリスクを伴います。

(5) 一部解約による資金流出等に伴うリスク

大量の解約があった場合、保有有価証券を売却しなければならないことがあります。その際には市場動向や取引量等の状況によって、基準価額が大きく変動することがあります。

(6) 運用制限に伴うリスク

当ファンドの運用は、規制上または社内方針等により売買を制限されることがあります。したがって、これらにより当ファンドの運用実績に影響が及ぶ可能性があります。

(7) 信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることもあり、また、投資資金を回収できなくなることもあります。これらは基準価額が下落する要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・新・国際優良日本株ファンド

愛称: 厳選投資

マンスリーレポート

お申込メモ(お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

ファンド名	スパークス・新・国際優良日本株ファンド(愛称: 厳選投資)
商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	平成20年3月28日から平成30年3月27日
決算日	毎年3月27日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
お申込時間	販売会社で毎営業日お申込いただけます。原則として、お申込時間は、午後3時までです。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込単位	お申込単位等、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
お申込価額	お申込受付日の基準価額
解約のご請求	解約単位は、販売会社が別途定める単位とします。ご解約請求のお申込時間は、午後3時までです。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
解約価額	※1顧客1日当たりの解約の金額に制限を設ける場合や一定の金額を超える解約の請求の受付時間に制限を設ける場合があります。わが国の金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときには、解約請求の受付を中止させていただく場合があります。
解約代金の受渡日	解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額 解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いをします。

お客様にご負担いただく手数料等

下記手数料等の合計額は、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込時】

■お申込手数料 3.15%(税抜3%)を上限として、販売会社が定める率をお申込受付日の基準価額に乗じた金額

【ご解約時】

■信託財産留保額 解約請求受付日の基準価額に0.3%の率に乗じた金額

■解約手数料 なし

【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬 純資産総額に対して年率1.722%(税抜1.64%)を乗じて得た額

■その他の費用等 (1) 監査報酬、目論見書や運用報告書等の作成費用などの諸費用〔純資産総額に対し上限年率0.105%(税込)〕
(2) 有価証券売買時の売買委託手数料(ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。)

※課税上の取扱いについては投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・新・国際優良日本株ファンド 愛称:厳選投資

マンスリーレポート

ファンドの関係法人

- 委託会社:** スパークス・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
 [加入協会] (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会
 * 信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社:** 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)
 * 委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。
- 販売会社:** 下記一覧参照
 * ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	(社)投資信託協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○			○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号	○	○	○	

[お問い合わせ先]スパークス・アセット・マネジメント株式会社
 ホームページ <http://www.sparx.co.jp/>
 電話番号: 03-5435-8200(受付時間: 営業日9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。